

11

Jun. 1963

1

Mar. 1964

重要メモ綴

アムズ

1963

No.

自	年	月	日
至	年	月	日

御使用済みのリーフは此の表紙に綴込んで
保存して下さい

重要メモ綴

アハ2

1963

No.

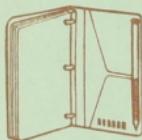
自	年	月	日
至	年	月	日

御使用済みのリーフは此の表紙に綴込んで
保存して下さい

全国共通規格品

- ◎パイロットルーズ手帳はパイロット万年筆インキと同様全国的に販売されて居り最も多数の方々から御愛用と信頼を戴いて居ります。
- ◎此の手帳は全国共通の規格品ですから替紙は何処でも入手出来ます。
- ◎当社特製のスマートでカサバラない薄型手帳も好評を戴いて居ります。

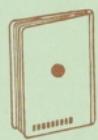
—真心こめた御進物に—



(A)



(B)



(C)

名入れマーク等は浮出し又は金文字にて御希望の所にお入れ致します。(百冊以上)

(ルーズ手帳寸法表)

種別	表紙寸法(mm)	リーフ寸法(mm)	リーフ穴数	リーフ枚数
特大	164×109	150×96	8	60
大	136×85	124×70	8	60
中	114×76	106×60	6	60
薄型中	111×73	106×60	6	30
極薄型中	111×73	106×60	6	30
小	105×76	96×60	3	60
薄型小	102×71	96×60	3	30

サロベツ

JM 24 年度 サロベツ

JM. 25 晴

丸山

ヤケダモ林

ムクドリ

エゾセニニユウ

ツツドリ

コゲラ

ベニマシコ

シジユウガラス

コヨシキリ

ビニズメ

カツコウ

キジハト

ニユウチイスズメ

ハリオアマツハメ

アオジ

ムクドリ

カワラヒワ

メホソ

ウグイ鳥

ハシボソガラス
キツネ道 丸山 鮫林 からす 鹿野
へでひよ道 ニワトリ 北へた跡
がいづねエ 道は不覚の木へ

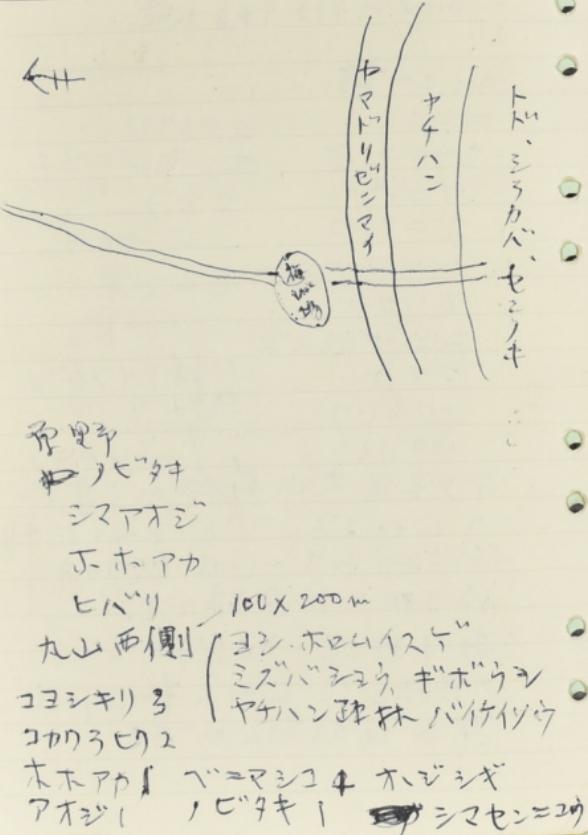
45 300 m は 追跡で見る

鮫林 鮫のヤコトリセニサイ

の鮫林 からす 北へた 鹿の倒木

道 3X4.5m である

1963年



- 丸山西側 やナハンズ林
- キツネ ~~子~~ 雄成年 (雄成年)
- BW 1460
- TL 590
- T 198
- HF 119
- E 63

JUN 26 薩摩

丸山北側
ホロヒイスケ 地帶
ハビタキ 合計 21

丸山五(?) やナハンズ林

~~マキノセンニコウ~~
オジシギ, ホトトガ

森林林縁
アリスイ

丸山北側 中央 ヒタチギヤナフ
ワタヌケ ホロヒヌケ"

シマアオジ 鳴声

トトマツ 雄下水

エゾセニニコウ

シジエラガラ

アカシ

ラグイス

エゾムシワツ

カラコロ

JUN. 27 土

丸山 ヤナダモ 航林

キヒナキ

丸山 北西側

喜野市(森林林立 300m の所)で
キタキツネ親子観察 午後1時50分
喜野市の中へ下りて1kmほどは晴

- 22:00ものと見ゆた
• 畫眉 晴天にも採食にこなすこと
と確認。
- キツネ子 リナム採集
キツネ親(喜野で採食後帰ってきた
もの)半統れて採集。2時40分頃
- キツネの行動半尾は喜野では
少くとも2kmは走るものと考え
るが
丸山中心地帯(北山地側) / ヒタキ、エゾセニニコウ
JUN 28 土 (ハミホソウカラス、ムクドリ)
喜野(丸山北側) にてビンズイ
-前採集
- 丸山北側採集
~~エゾムシワツ~~ (ツッヒーイー,)
エゾアカゲラ
- 北側原野 - ヤナダモ地帯
ヒタキ
↓ エゾアカゲラ
コサメヒナキ

オシドリ ♀
TL 467 T109 W234
F51 B32

28日 年後 ハンケ泥へ
29日 年後 10時帰宅
30日 朝 桜帽着

ハンケ泥へ行く途中又ハント
泥周辺に数羽のチユウヒをみ
幼虫林はタスキからヒリキナス。

新しい鳥

メボソ
オンドリ
ビニズイ

サロベツ(義官)

Jul. 13 班内着 14日 室内

北川武雄調査詳見

6月 61
10月 25+1 86~87

中一部 ヒバリ、シマオジ、ノビタキ

中南部 シマオジ、ノビタキ、ホホアカ
マキノセニユウ、ヒバリ

周辺部 アカモズ、カツコウ、オオジ
ベニマユコ、ホホアカ、ノコマ
コヨシキリ、オオジシキ、
オオジユリン

森林内泥 ミコアイサ、キンクロヘシロ、
ヨシガモ、~~ビロウド~~キンクロ
アカエリカイツブリ。

森林 カラクモ カワカモ(フネテラ、アリスイ)
アカハラ、コマドリ、エゾヒシツイ。
ヤブサメ、コウケドリ 売上8種

1963. 12. 11.
アラトール 食事観察
キツネ ♂
BW 8.7 kg

♀
TL 97 cm
T 35 cm
H 8.2 cm

1963. 12. 13
アラトール 食事観察
キツネ ♀
TL 97
T 35
WE 7.5
HF 15.5

Aug 26 4才
エリクスイード
カリコヒリ
アオニ

- ① 本日は食事観察
- ② 食事観察用具
- ③ 食事観察用具

ナツメヤシ 今早
安藤達(ほか)
徳島 4才半にかけ

野角怨説会 拉桿會館
12月 12日

アメ

旭川 1964-3, 17~18

明治40年代 上士別

夢見が悪かった、夜死んだ親
(兩親)かい夢みてきて早く帰れ
といわれたので何が悪いことか
あそと死んでた。その後山で
犬か猿をみつけたが先に帰れて
1年木に登つて猿立ったから。
後にそれ

死の死んだものを夢でみた場合はずす
死んだ人が死る

ヘビーか自分の胸でも手でも
はりつた夢をみた時はより
(井川一郎) 非夢

更夢をみた後 度だけ
(浦山)この時は左腕の白と黒の半
身よきものも早く、子供は着いかけ
た物の先にやつツツをいぼす
夏の風邪からはやすめにイタツを
ナロルやいふことをよい。1
家の ナツツツを先にほす。 17ウ

14次の本—7°-74°

7°-74°をかんぐるふとんの上に
かきつけよとよい夢をみす。
お供は△エレモトだりてねす。

後編—シコロの本

風都—キキニのはを薙いでのむ
せき—おののは

木山氏

旭川近辺では音ミカが非常に
混迷した。

遠子~~アホ~~御物

キシネ、リジナ、テン、ウサギは
ヘンツ、エゾイタチ(護り神)
エゾイタチの頭を獣の瞳山へ
持つて行く、頭をイタウヤつぶ
むすつ。

クマを山で取つた時を記す
山にあひて人子 肉はシケニに
かけす(野宿した所を)

かこの野宿(なやか)をすま
と遠くともほととぎすは持つてけり
小鹿に入れる。

イタウを頭骨のあたこす場合
1合のゆゑを高く左を低く
半は 右を低く左を高く

サハ・イタウ

木山氏自身がアスをいた跡
は40石程度。



木山氏の父は木山の
鉄砲(孫子島)を使つた
か、鉄砲を使つた人は
は止めをやさないといわ
たといふ。

サ
ハ
ウ
ニ
ゲ
イ
ナ
ウ

イノサンカリイの羽は
花余(アラツコロ)の先端印
(4口)尾の部分(アイラツコロ)
花余
4口 アイスツコロ アラツコロ

エツツクタウ

ラツツ⁰(羽)をとるため

イソサンガライ もともと今は
矢や金鉄砲²ではなくて snare
細い革で車輪をくぐりえたり
釣る。この手は 4カゴイタクナ
の鐵砲²を作³ イリリツタ(フ)
頭と体は けん⁴をつけておき
る。イソサンテがくまと籠の
尾根所をおしえるといいわ⁵。

サラニツツ⁰の材料
ニカブ⁶ アツ (オヒヨウ)

ブターチ⁷ ブズ

キナ

ナツテ

チナのは

カトニ

灯心⁸ 続うもの

イ=カトニ

火を起す

油は 濃油

アツツ

サツの骨をヒリ 鋸⁹切りやりばし
にさしたもの

(アツツモ) やま
サツエツツ¹⁰ はつきのまゝもほしし
名¹¹皮をはひう 撘¹²てたてて
えほ¹³るし クマ¹⁴の油¹⁵をせで
たてみ (煙¹⁶) 二十四
スルウシテエツツ¹⁷と云う

9

17347¹⁸ アキアジの邊のアコ¹⁹
御²⁰からとす²¹。12²²め23の
矢²⁴を使²⁵のりは 17347²⁶を行²⁷
場合が多い。

主に降りは ミカを引²⁸とったこと
がある。金砲²⁹もいはずミカを
山の草へおい込³⁰むと雪³¹ぬか
づね³²を棒³³でたたき散³⁴した。

アヌス犬のいりものから3cm位
からいも什才をフケて送る。

ビバー川の風にてんづる
トビバーレンの風

ポンエツフスカラ
スネーイマツの(カニヒの皮でつくつた)
(従太いまつをつけて、ウツイ、ヤガ
革を引てと子漢。(小魚)
ニキ付子を体)練習のため
へ小便などいひやうせよ

3月

ラウラウーテナンニヨウの根
をやいで中をたへる。小さく
辛なせつて毒かちつが大き
れいものは叶葉のうまい
昔からこれをあらして痛む

あてるとよいと云ふかゆうする。
骨が悪い人か24を薦めのむ
とよくなつた。この人は医者し
つけたので、手術してもよくわ
とうためだ"と見下すをされどいと
云う。並いたものはあまり濃いと云ふ
うらうは辛い實かなつた攻に
とよとなり。

神経痛には、あらしくしつぶ
すまとよい。

ワラビの根を大切にテシローネ
をと子ことは、アイヌの本なり。

山で「まつて草」ない言葉
知らひい。(あつたと思ひか)

穴能をとる物、ネマガリを二割り
昔は先に竹をつけた後で壺を
ぬつて(壺の)それを穴
能をつけるとした。
これが何と
おもひます
く

マツの長さは5-8cmほどの
もの、よく乾燥したもの
を1場穴の入口に掩を3本
か又はこれより上立て、焚が
ざすやなくしておひこが3つ。

北見アサリ取扱い
男が獨りで2-3日営業中
は便所へ行く事外はあれ
や外に出たり、すなまは
よくたゞ家の中の静かん
じゆをくつむる事はない。

ラジニイツア

アイスヌギをきさんだり袋に入れたも
シケレベ(エコロの袋)のを中へは
未付キビ革新して収穫したも
の

コラボを袋に入れたものを山へ
(手)たばね火をたいてそこへくべ
る。山でアトランブルのまで

6番位の高さをかくめ、その中
に火をたいて山の神に水を
かけの場所と自分のかいじ
くわと称す。山小屋を建つた
場合はこの周囲を回らび
うる。山での安全を祈る

羽幌くまのはからいでいた老人
が山へ大勢の人に行き最後残られ
たのん前かき立てくわいた。

エタシハツエモトあかごできた
る僕でまいせみとひつじの
人が籠を撞りおりては向
にえさすやくわいた。

このよしんくまの裏をひつじの
ではない。

熊の骨 山では解体した
いふいとくは、家ではスサヒ
おく。だから木にはニヤヤシ運
んで行つるよう。

テントを立てるか。一鉄砲
犬をつけて木の根の穴に
181723 ねむけつけ 22277
ご推す。そして下を入れておき。

今 3月砲は晝内は3月手砲等
は持金へござりない。か夜は
中にはいつてほどのご草ごヒとす
ことがござります。

ウマの肉。

サカシカムー ゆかくこと。
銀油の多いはゆかき カンヒのばんつづ
生干し—サツカム ますよくする
ひぎ行う。
Rの上で少し干し

ウマをとつた場合 油を入れるのは
大腸(ルエトイビセ)や腸(トライビセ)
に入れる。
油は、やり傷つけると最高。

鳥山 Mar 28 '64
P
野鳥 種類
71本 MA 27.5, 5A

アマオホ
ブランク
この山でヒツジ羊群の上に
落葉にし、散居する。



2-3人で1ヶく足跡ひづりで
走らししてアマオホの注意を
さめく。

解体の噴煙 FAMA

2-3人で遠くへ行いの2-20
歩②び遠くへ行う。

シジナ、ナツネ、ウサギ、

タカ、フクロウ(イイサシカムイ)

カイブサ=43タサ(ハリ)-
エチの名を差すさんもある

新井田 肺結核
明治38年秋。

父 岩代平 23年9月22日
生

アマウホ^ト 野崎 28-29才半^歳
^後 (ラウホ^トアマウホ^ト)
ツシナ持一鉛画 トンネルヒト
おとぎ屋に行つた。旅のことを
おとぎや春先。
ウカウ、アスコ、4才の人が金魚画
本^ト へりにひつた

ツヨリ強き 草の根を
4才でけじわからず
5番川の

あす切口引けた右側の左を
あす切口引けはしごして
ある事。

9月の末、210日までから
移動するのか一々書く。

スルツサツ^ト — これほどのラマ
かいじゅうれきあみけは「北洋海
をはかず義会」(近高) すみれせ
イナラモケテツコミルのし
エラレのせよ

アマウホ^ト

サツリ年 17°力

弓の部令 まんオノコ

ラレキ^トカニ 98度もれた。

34カウ^トをとみめ。

アラタハスイチカ (アミ) の話

6-7 ヒロの裏

ミカの皮



34カウ^ト 5-6 王子城

9尺^トの木^ト

6付

十六付

8付

キツネ。skull を穿いた
おきこキツネ。ツエコロイナフ。神龜を
ひかく。丸の神山木みき
ハセコロカムイ。ヨリ小猿といふ
キツネ。ツル。モモコ。

鶴鳥。桂の木キツネ

カクハシシジニ神山の中猿

ウバニ^{ウバニ}ル^ルヌフ^{ヌフ}—エリイタフ
ツレモさづか、ヒムケオサリム
ホ。ハエトウテ 口かき道者
ハキスカ ~~ハキスカ~~
マタギの木穿りいす

さざかみゆき合 その人の
足をとつ つ角合はつてくつ
(行方不明)

はつたゆき 人には水せ
了小夜いが この人は水せ
や火かへ先付、よきことあらは

サルニ — ゆ

ハヤヒニテカハナア 次に大物

なハササルニ

カツコ、カツコウセ

カツコウの差をサツけめとぞの

は奇福いなし。氣をなしてモリ

太古解家 人間そしはと
財産をなしてモリ

不吉からじ

この差をスツヘズ人間の

ちよしだりすと不吉いなし

アフニラーミニズク

反ヒトたま食佛セカヒハ

すさむ(ちりこ)ハ(く)

鳥生は夜は経せば

廿九は、アリ 新井の
大正九年 社田からおみやげ
一袋と来ました。

その後、毎月18.20円で
エコナリ 一起年春社田が
貰つて来てはいた。

クレジット

普段一セントルナルを44
次にアヘンをサンゴカル
(向日)を48

以上、合計を支へる
大切 カード

次に
(ツボル+170-脇油内)
を付与にかけてある

(向日)の243を年会員料

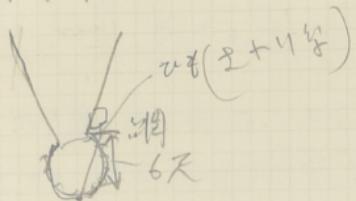
- 月は月々お手遣り。
- 前足からモモをえりん
お主の兩モモは3の2を取る
- レイフード
- 腹一洗って。)

(籠にキトビロを入れて塗を入
れて置く。

- 防院の油を48
- マレツフー
ナタウアヒ(奥) 20-25才の
夜ヤナギをたかで包んで
しあげ(シト)



アライ。



金剛=ヤ。

スネカル—タケウチをかけ
てモヤシを吃る

スネータケマツ

1年間の平均 1~2kg

エノコロサトコ

テヌス—アラシキ

山の街。 しブン — 沖
キムシハイシクマ

特異な言葉があり ~~アリ~~
質量には敵えずやない、むろんア
ルホウ申す大場合この言葉を
主に使ふが。

セツハ

レボンハイシクマ 陸の便
(の一種)

黒崎

26才の時 (アニ29才)

ウカイエランケ 陸の便

ウカイモニナリ — 便りをきの子、
もんやくかがきセの場合、
陸の便

便りをきの子の場合

レボンハイシクマ (人をの3才) を使ふ
御宿かご宿の2つが3才の子

レボリューションを経た人々が
は、人をのぞき、うそをいって
いふかどくかとの3つで矢をとるか
である。

これはかりにこのものであ
るかと、何の作術かと云ふ
より方法がない。

(神をかほす)人の家や
系統はけろひとけろ。
術で悪のことをのぞむたりと
ゆ。

ウイバニクスは神代の神と大
きな力と一人向ひ平和を取
う神。今のアレクのを
戦のかほすかアレク

接
の
神。

ウノルニクス

ミシタニの理子は
御苦しみつきあつた。
海のことをかみはかりてか

ウエーハ 月をかみよせを
湖へと(くわゆ)

酒 ウオモニハカレ
道 ハリヒビカ前 カリハビ
後 山から帰つて(アキラメ)

神を尊び山の幸運を祈
るため人をとめたりお妻は
お別れへとつづはよくなれ
元人かクマ狩り山で(アシカ)
川は殺せきの人にとも泊める
ことはできない

火と木と協合木と締結し
火とけ子。志中かはつけない
獣のいる日暮は探しでさす

猫山ひろみのカウントは
20年位前からあります。
猫山ひろみの神。
74か41

一番はイーハツカウト
トキ
ハツ4
シタツ
マカリ
折りに使ふ道具

悪い音をみた場合 行くと
いふ。

悪い音をみた場合猫を
やオエで置き おりうる
と ~~ク~~ ク2ひきかへとく
え3ねぐらとく

74か41(不動) カウト41
タツヤツコロカウト

悪音をみた場合神にまわして
いる。
神山ひろみの悪音をみた場合
37人ひきかへとく ほつてまく
ヒヨコひきかへとく 24を
ウヘミスル 213
奉命だけは

木 20

オニタツ

アレモヒヤウトヒヤウト
スルタカウト
毒
金魚アフリカ

年取の7~21は500円未だ

竹を切らせる

柴を刈りへんへんかきか

ト
4P

74ヤー山+尾、儀+尾

トウイマク4ヤー~~遠~~ 36年前
山小屋

皆、胸因大汗は鹿峰へせし
帰つた

P

アドウーサトを切つて骨を取
る大丈夫。

+立て切つたものは
力強の木やつらが

ヨシヤモー春日山へりほう大
きくう

サ4=77°

干した魚

アラモニ

先の先のアラモニシルシヤ
ウチのちのアラモニ死んだ
アラモニ所有者にはつりす
死んでから→太矢でさじんが
シロを獲取すと云ふ
絶対にいけないといす
とこの人や家が死ぬ事
がありえひ

アマツホをかけ大根
又は梢葉は39人48分
大根を42分92分
木を42分42分42分
これを表す。

かう木イヌ 愚の神(能)
人を殺した方の能のことを云ふ

オサンネ
女子 14

14年2月から1ヶ月間で
はまつ能の月と合む
帰ったばかりで、まだ3月が
始まらぬ。山十度ひ
24日はおとくへ鳴き聲
4月7日はあつ山から
あつたの帰った3月13日
山十度からぬきやがたせ
つぶされたり。
タチは總別の次。

14年2月

2020年4月27日から1ヶ月
はまつ能は大喜布幸はい
たる事ある。

この月は連続して櫻前、美咲弓
弓射と舞獅の日。

下痢 一ヶ月のは
食

ハニキ - お虎屋直之
店舗

キキ - 一風邪。

風邪の神をおこす場合
赤アズキ、コウジ、スベニモ
おせんべい和2.大の神に手
アサヒ293

ラクダ - やめて中味のかい
ヤセと云ふ

ピバ——“) ちかく
トビバ—— 沈

エサニニカウソ

エイの事

ハナフスベ——うちみその處に
前じつは死ぬか
死ぬは絶ます
だけ

アサ——ズルウの力かよす
ゆる代りに 利用
さやのゆるむちよ
前じつめに使ひ。

トドのはを持てクヌの捕り
アリはいけない。トドとクヌは皆
けんかいに海と山に生むかかれた。
トドのは肉を食つたものを
山へ行きとクヌが逃げて
います。クヌのはを食つたものは